

2022 年度秋季 SDGs スタートアップセミナー実施報告

2022 年 9 月 19 日

PMI 日本支部 理事

SDGs スタートアップ研究分科会代表

稲葉 涼太

去る 9 月 17 日(土)、SDGs スタートアップ研究分科会の 2022 年度秋季 SDGs スタートアップセミナーを開催しましたのでご報告いたします。

※イベントページ

<https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/5520/>

2022 年度 SDGs スタートアップ研究分科会の概要

■ 【SDGs スタートアップ研究分科会とは】

PMI 日本支部は、SDGs 達成プロジェクトを効果的に軌道に乗せ推進する方法の開発・普及を図るために、2019 年 10 月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に「SDGs スタートアップ研究分科会」を設けています。

2020 年度より SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「ベーシックコース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「アドバンスコース」の二本立てで実施しております。

A) ベーシックコースについて

SDGs が社会に浸透し、「Why SDGs?」と「What is SDGs?」が提唱される機会も増えました。SDGs を絵に描いた餅にしないために実際に SDGs を事業として推進することが大切です。

しかし、SDGs 事業の取り組みを始めようとしても立ち上げ推進が中々効果的にできていないという課題認識を私達は持っています。

「How to Achieve SDGs」のためにアジャイル、リーンスタートアップ、SDG コンパスなどをベースに開発した、SDGs 事業に即したプロジェクトマネジメント手法である『SDGs スタートアップ方法論』を研修・ワークショップ形式で体得できるコースです。

毎年度、企業・自治体・学校・非営利法人等多くの多様なバックボーンを持つ団体が受講し、過去 3 年間で 70 団体が参加しています。

今年度も 10 月、12 月、2 月の全三回シリーズで開催します。

B) アドバンスコースについて

アドバンスコースは原則としてベーシックコースを修了された団体を対象に、実際に

実行されている SDGs プロジェクトを対象として伴走型の PM 支援を行います。
今年度も、既に株式会社・学校教育機関・非営利法人における実際の SDGs 事業の支援を行っています。

1. SDGs スタートアップセミナー概要

- 開催日時：2022 年 9 月 17 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分
- 会場：オンライン(Eventos)
- 主催：一般社団法人 PMI 日本支部
- 後援：地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム
- 開催趣旨：本分科会の 2022 年度のベーシックコース開講に先立ち、以下の講演を行う。

- ・ 講演 I SDGs 事業立上げの実践事例
- ・ 講演 II ベーシックコースから SDGs スタートアップ方法論の概要

■ 当日の概況：

当初定員を 100 名で予定していましたが、申し込み多数のため増員設定し、最終的に 200 名近い方に参加申し込みいただきました。

SDGs 事業立上げ推進への関心の高さを感じました。

- 冒頭は開会挨拶として PMI 日本支部会長の端山 毅から PMI 日本支部の活動説明と社会的意義や社会課題への関わりについて案内を行いました。

The image shows a presentation slide and a video call window. The slide on the left is titled "PMI 4.0の戦略目標：各人がアイデアを実現できるようにする" (PMI 4.0 Strategic Goals: Enabling individuals to realize their ideas). It lists three strategic goals: 1. Broadening the reach (より多くの人の役に立つ), 2. Expanding impact (人々の能力を引き上げる), and 3. Building lasting relationships (コミュニティの活性化). A diagram shows "PM 専門家" (PM Specialist) leading to "Changemakers". The video call window on the right shows a man speaking, with the PMI Japan logo and "Project Management Institute Japan" text visible.

図：PMI 日本支部の活動について

- 講演 I では岡山大学副理事、立命館大学教授、内閣府上席科学技術政策フェロー、株式会社 NEXTA 副社長であり産・官・学それぞれの立場で活躍される佐藤法仁氏をお招きし【「0 か 1」、「丁か半」で物事が決められない時代における新しい価値の創出とは～そのための SDGs 活用法とその先について～】と題してご講演いただきました。

佐藤様からは、ともすれば SDGs は企業において慈善活動などの非営利な社会貢献活動だけとして誤って捉えられることもあり、また営利にしても「夢物語」「ふわっとしている」といった感覚になることもあるが、実は SDGs はとても現実的であり、ビジネスを行ううえで“お得感”があることを紹介。そして企業がどう SDGs を自社の事業に活用し、ありたい未来を実現していくかの考え方や手法について、産・官・学それぞれの視点から具体的なお話をいただきました。

また佐藤様からは SDGs のその先を見据えた考え方についての視座も、カーボンニュートラル（グリーン・トランスフォーメーション、グリーン・イノベーション）を一例にご提示いただきました。

佐藤様のご講演は SDGs と向き合おうとする多くの事業者様などの活動を後押ししていただく内容でした。



図：講演 I 資料より

- 講演 II では PMI 日本支部理事/SDGs スタートアップ研究分科会代表の稲葉涼太より、【『SDGs スタートアップ方法論』概要～『SDGs スタートアップ方法論』の必要性～Why SDGs?と What is SDGs?のその先へ】と題して講演を行いました。

講演前半ではまず SDGs の本質とは何か、世界的になぜ重要視されているのか、そしてなぜビジネスシーンで重要視されているのかを説明した後、経済価値と社会価値をともに向上させる CSV と環境・社会・ガバナンスを重視する ESG について、さらにこれからの事業に SDGs がなぜ必要かをお話しいたしました。

そして後半ではSDGs 事業を立ち上げ・推進するための当分科会の活動と「SDGs スタートアップ方法論」概要について解説を行いました。

SDGs スタートアップ方法論は大きくは以下の 3 つから構成されており、本講演ではSDGs スタートアップ方法論の有効性を提唱しました。

- ① リーンスタートアップをベースに変化不確実性に対応しながら素早く仮説検証を行い顧客探索と製品・ソリューション探索を同時に行う「SDGs スタートアップ・プロセス」
- ② SDG コンパスと呼ばれる SDGs 事業推進時におけるグローバルスタンダード指針をベースにし、リーンキャンバスでSDGs のコンセプトを組織内で共有し、ロジックモデルでSDGs 事業の実現計画を策定し、ベネフィットリストで事業の評価基準を策定して素早く事業計画の組織内形成を図る「SDGs スタートアップ・フレームワーク」
- ③ プロセスとフレームワークを繋ぎ合わせてチェンジマネジメントの仕組みを作る「SDGs マネジメント・サイクル」



図：講演Ⅱ資料より

- 本セミナーの参加者アンケートではイベント全体の参加者満足度が 100%と高い結果がでました。多くの SDGs 事業担当者や今 SDGs 事業を行う予定の参加者の効果的なSDGs 事業推進の一助になれば非常に幸いです。

2. 今後の活動予定

2022 年度も、全 3 回の講義・ワークショップで SDGs スタートアップ方法論を体得する『ベーシックコース』を開講し、現在参加団体の募集中です。

本年度は10月21日(金)キックオフ、オンライン開講(参加費無料)です。

■2022年度ベーシックコース申し込みサイト

https://www.pmi-japan.org/news/info/2022_07_15_sdgs20220715.php

また、PMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会では適宜情報発信を行っています。

詳しくはPMI日本支部SDGsトピックコーナーをご参照下さい。

<https://www.pmi-japan.org/topics/sdgs/>

問い合わせ先：PMI日本支部SDGs担当(sdgs@pmi-japan.net)